

平成 15 年度事業報告書

平成 15 年 1 月 1 日から平成 15 年 12 月 31 日

特定非営利活動法人
日本グローバルグリーン協会

- 1 事業の成果
- ① アフリカ・サハリ砂漠周辺の乾燥地(サヘ・デフィス・ブルキナ)における、グローバルグリーンによる緑化推進及び食糧増産試験事業。
 - ② サヘル・デフィスにおいて、過去3ヶ年にわたって実施してきた砂漠・乾燥地緑化及び食糧増産活動の一環として、緑化事業実務従業者の定着及び後継者育成を目的として、教育環境・施設を整備・充実させるための学校を建設(平成15年2月完工)し寄贈する。〔事業名：乾燥地農村活性化及び持続的生計開発 ジョムガ学校開発事業(ブルキナ・ファソ)〕
 - ③ 国連砂漠化対処条約事務局長ハマ・アルバ・デアロ氏を招聘し、地球緑化啓蒙を目的として、当協会の支援母体である株式会社国際友好交易の創立15周年記念式典の中で、株式会社国際友好交易の会員及び当協会々員併せて総勢800名を対象に、国連砂漠化対処条約事務局の目的及びその活動並びにその必要性に加えて、当協会のブルキナファソに於ける砂漠・乾燥地緑化活動及び、教育支援活動についての報告を兼ねた講演を行って頂いた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に関する事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従業者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (単位：円)
サヘルデフィス・ブルキナ	前年度に引き続きブルキナファソにおける、サヘルの緑化推進及び食糧増産推進事業に関して技術指導を文書等で行う。	2003年01月～ 2003年12月	ブルキナファソ国	2人	ブルキナファソ国民 2,000人	¥0.
サヘルデフィス・ブルキナ、ジョムガ地区に於ける、砂漠・乾燥地緑化及び食糧増産活動に伴う、教育環境整備支援活動	過去4ヶ年にわたって、行ってきた砂漠・乾燥地緑化及び食糧増産活動の一環として、従業者定着及び後継者育成を目的とする教育環境・施設を整備・充実のため、学校を建設し寄贈した。	2002年7月～ 2003年2月	サヘルデフィス・ブルキナ・ジョムガ地区	3人	学童 50人	総額\$12,000.のうち (第2期分\$4,000.) ¥482,900.
地球緑化啓蒙活動	国連砂漠化対処条約事務局長による講演会を実施。	2003年10月 17日	東京全日空ホテル	10人	当協会々員及び支援母体会員約800人	¥0.
計						¥482,900.

(2) 収益事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従業者の人数	支出額(単位：円)
なし					¥0.

平成15年特定非営利活動に係る事業 会計収支計算書

平成15年1月1日から平成15年12月31日まで

特定非営利活動法人 日本グローバルグリーン協会

(単位：円)

科 目	金 額		
I 収入の部			
1 入会金・会費収入			
入会金収入			
会費収入	¥1,552,000	¥1,552,000	
2 事業収入			¥0
3 補助金等収入			
地方公共団体補助金収入			
民間助成金収入			¥0
4 寄付金収入	¥132,000	¥132,000	
任意団体からの繰入金			
5 雑収入			
受取利息	¥48	¥48	
当期収入合計(A)			¥1,684,048
II 支出の部			
1 事業費			
活動費：サヘルデフィス・ブルキナ補助金	¥482,900	¥482,900	
2 管理費			
什器備品費			
事務消耗品費			
通信費	¥127,155		
租税公課			
接待交際費			
雑費	¥5,210	¥132,365	
3 外注費			
肥料製造委託費			
文書翻訳外注費	¥227,640	¥227,640	
肥料輸出費用及び委託料			
4 予備費			
予備費			
当期支出合計(B)			¥842,905
当期収入差額(A)-(B)			¥841,143
前期繰越収支差額(C)			¥1,550,510
次期繰越収支差額(A)-(B)+(C)			¥2,391,653